



J.F. Oberlin University Oratorio Project 10th Anniversary Concert
桜美林大学オラトリオプロジェクト10周年記念コンサート

J.S.バッハ： ミサ曲 短調



J.S.Bach: Messe in h-moll BWV232 【字幕付】

指揮：植木 紀夫
ソプラノ：小林 可奈
ソプラノ：小林 玲子
カウンターテナー：上杉 清仁
テノール：谷口 洋介
バス：渡辺 祐介
合唱：オベリンナー・カントライ
管弦楽：オベリンナー・カンマーアンサンブル

2018 11/9 (金)

19:00 開演(18:30 開場)

会場：パルテノン多摩 大ホール

京王線・小田急線・多摩モノレール線 多摩センター駅下車 徒歩5分

チケット(全席自由)：一般 ¥2,000 学生 ¥500

○チケット取扱い：チケットパルテノン e+(イープラス) Tel. 042-376-8181 (休館日を除く10:00~18:00)
ファミリーマート http://eplus.jp
多摩アカデミーヒルズ Famiポート → チケット → e+(イープラス)
桜美林ガーデンヒルズ Tel.042-376-8511
京王観光町田営業所 Tel.042-797-3570
Tel.042-798-5030

※ パルテノン多摩友の会アテナクラブ会員価格は一般券と同額です。
※ 未就学児は入場できません。
※ 大学生及び小中高生は学生券をお求め下さい。大学生は入場時に学生証の提示をお願いします。
※ チケット販売開始は8月20日(月)です。

主催：桜美林大学 提携：公益財団法人多摩市文化振興財団 後援：多摩市、町田市、相模原市、八王子市

お問い合わせ：桜美林大学インフォメーションセンター

Tel:042-797-1583 Email:oratorio@obirin.ac.jp URL:http://kantorei.jp

出演者

植木 紀夫（うえき のりお）指揮



東京藝術大学声楽科卒業。1993年渡独し、ヴェルテンベルク州教会立教会音楽大学及び大学院にて教会音楽を学ぶ。在独中エスリンゲン市ツォルベルク教会のカントーラを務め、合唱長兼オルガニストを務めた。2000年、同大学院を合唱指揮法最優秀で修了し、教会音楽家A級ドイツ国家資格（カントーラ）を取得し帰国。賛美歌研究を軸に、合唱指揮者・オルガニストとしての活動を通し教会音楽の立体像に取り組んでいる。現在、桜美林大学芸術文化学群教授、大学オルガニスト、オラトリオプロジェクト研究員。立教大学文学部兼任講師、活水学院キリスト教音楽研究所研究員。キリスト教礼拝音楽学会理事、国際賛美歌学会（I.A.H.）、日本賛美歌学会、日本オルガニスト協会各会員。

小林 玲子（こばやし れいこ）ソプラノ



名古屋芸術大学声楽科、G・ヴェルディ・ミラノ音楽院声楽科を成績で卒業。ヴェルディ国際声楽コンクール入賞、エンナ国際音楽コンクール声楽部門第1位、ブッチーニ国際声楽コンクール第1位に輝き、ドイツ・フィルハーモニー劇場にてブッチーニ作曲オペラ「蝶々夫人」のタイトルロールを歌いヨーロッパデビューを果たす。その後チューリッヒ歌劇場などヨーロッパの伝統ある劇場で「蝶々夫人」を計67回公演。オペラ「ラ・ボエーム」のミミ役もヨーロッパで10回公演し可憐なミミとして好評を得る。「レクイエム」「スタバト・マーテル」「メサイヤ」「口短調ミサ曲」「天地創造」「四季」「第9」など宗教音楽の演奏会にも多数出演。現在桜美林大学芸術文化学群音楽専修教授。

谷口 洋介（たにぐち ようすけ）テノール



神奈川県横浜市出身。国立音楽大学声楽科卒業。声楽を宮崎義昭、中村健、大石正治の諸氏に師事。オペラ歌唱をヒサコ・タナカに師事。古楽歌唱をジョン・エルウィス、ゲルト・テュルクの諸氏に師事。1998年以来、鈴木雅明主宰のバッハ・コレギウム・ジャパン主要メンバーとして国内外の演奏会やCD録音に参加している。1999年、BCJ演奏のクラウド・オ・モンテヴェルディ作曲「聖母マリアのタペの祈り」でソロデビュー。バロックから古典派のレパートリーを中心に活躍中。C.モンテヴェルディのマドリガーレ、J.S.バッハの諸受難曲におけるエヴァンゲリスト、ハイデンやモーツァルトの諸作品等、その歌唱力表現力は高い評価を得ている。

オペリンナー・カントライ

桜美林大学オラトリオプロジェクトのもとに活動する合唱団。一般参加者、桜美林大学学生、卒業生、教職員の有志で構成され、ドイツA級カントーラ有資格者である植木紀夫教授の指導のもとに、オラトリオを中心とする宗教音楽作品を演奏する合唱団として活動している。毎年春、新規団員を募集している。

オペリンナー・カンマーアンサンブル

桜美林大学芸術文化学群教授・講師陣を中心に、芸術文化学群音楽専修学生・卒業生、首都圏を活動拠点とするプロの演奏家で構成される管弦楽アンサンブル。毎年オラトリオプロジェクトのため再編成され、楽曲の時代様式を踏まえた端麗な響きで本プロジェクトを支えている。



小林 可奈（こばやし かな）ソプラノ



桜美林大学総合文化学群（現・芸術文化学群）音楽専修声楽主科卒業。在学中に、音楽専修主催優秀者選抜演奏会に2年次より毎年出演の他、松岡邦忠「アートギャラリー組曲」ソプラノソロ、歌劇「オーロラの国から来た少女」少女アウロラ役（JAXA×桜美林大学コラボレーション企画）等、多数の学内コンサートに出演。オペラではモーツァルト「フィガロの結婚」スザンナ役、「魔笛」童子1役、ヴェルディ「椿姫」アンニーナ役などを演じる。宗教曲ではメンデルスゾーンオラトリオ「エリヤ」ソプラノソロを務める。現在、神奈川県立大師高等学校非常勤講師。日本オペラ振興会オペラ歌手育成部在籍中。小林玲子氏に師事。

上杉 清仁（うえすぎ すみひと）カウンターテナー



高知県出身。高知大学人文学部卒業。同大学院教育学研究科修了。東京藝術大学修士課程、及び後期博士課程を修了し博士号（音楽）を取得。スイスバーゼル音楽院スコラカントールムに留学し、ゲルト・テュルク、アンドレアス・ショルのもとで研鑽を積む。声楽を小原浄二、野々下由香里、伊原直子、故戸田敏子、ペーター・コーイ、ロビン・ブレイズ、パスカル・ベルタン、故クラウス・オッカーの各氏に師事。2000年国際古楽コンクール山梨において最高位を受賞。日本を代表する実力派歌手として活躍。また発声学や発声解剖学にも造詣が深く、声楽指導者としても注目を集めている。声楽アンサンブル『ラ・フォンテヴェルデ』メンバー。桜美林大学非常勤講師。日本声楽発声学会、日本音声医学学会員。

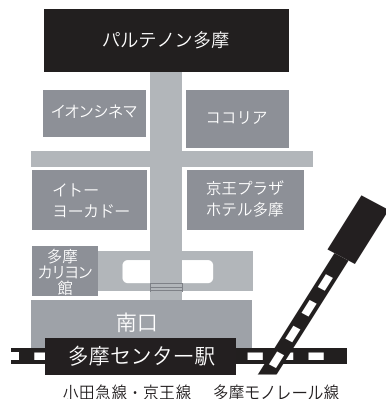
渡辺 祐介（わたなべ ゆうすけ）バス



東京藝術大学音楽学部卒業、同大学院修了。黒田博、多田羅迪夫両氏に師事。2008年～2011年までオランダのデン・ハーグ王立音楽院に留学し、ペーター・コーイ、マイケル・チャンス、ジル・フェルドマン、リタ・ダムスの諸氏のもとで研鑽を積む。2002年4月より鈴木雅明氏の主宰するバッハ・コレギウム・ジャパンのメンバー。また2017年より古楽アンサンブルCantus Ebriusを主宰し、バッハの教会カンタータ全曲演奏シリーズを開始。現在東京ムジークライズ常任指揮者、マヨラ・カナムス東京音楽監督。Coro Libero Classicoメンバー。

交通のご案内

京王相模原線、小田急多摩線、多摩モノレール線
多摩センター駅下車 徒歩5分
パルテノン多摩駐車場、多摩センター地区共同利用駐車場
利用可（有料）
<http://parthenon.or.jp/access/>



講演と演奏「J.S.バッハとミサ曲」

日時：11月3日（土）14:00開演 会場：桜美林大学荊冠堂チャペル 入場料：一般 ¥1,000 学生 ¥500
講演・指揮：植木紀夫 合唱：オペリンナー・カントライ ピアノ：岡元史代

☆入場整理券発行開始 9月24日（月）予定。ご案内は <http://kantorei.jp> にて。

〔表紙画像〕iStock:Sunlight between the columns in catholic church